

2019年度RAIMS活動報告会

-土木構造物のためのモニタリングシステム活用に向けたガイドラインの提案-

日時 2019年5月22日(水)
13:00~17:00(開場12:30)

場所 東京証券会館 8階ホール
東京都中央区日本橋茅場町1-5-8

主催：モニタリングシステム技術研究組合
後援：インフラメンテナンス国民会議

★参加費：無料 CPD認定プログラム
(認定団体は裏面掲載)
※事前申込みが必要です

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社



時間	題目	講演者
13:00	開演(12:30開場)	
13:05~13:15	開会挨拶	モニタリングシステム技術研究組合 理事長 依田 照彦 (早稲田大学 名誉教授)
13:15~14:00	基調講演 インフラマネジメントにおける データ活用(仮)	モニタリングシステム技術研究組合 理事 石川 雄章 (東京大学 大学院 情報学環 特任教授)
14:00~14:45	特別講演 新しい技術や取組みの実装を促す工夫 -SIP地域実装活動より- (仮)	岐阜大学 名誉教授 六郷 恵哲
14:45~15:00	RAIMSの活動報告	国立研究開発法人土木研究所 石田 雅博
15:00~15:15	(休憩)	
15:15~15:35	定期点検要領の改定について	国土交通省 道路局 国道・技術課 道路技術分析官 牧野 浩志
15:35~16:35	「土木構造物のためのモニタリングシステム 活用ガイドライン」の要点解説	東日本高速道路株式会社 本間 淳史
16:35~16:55	今後の研究計画-直轄・自治体モニタリング 実装WGについて-	日本工営株式会社 中津井 邦喜
16:55~17:00	閉会挨拶	株式会社高速道路総合技術研究所 八木 恵治

※プログラムの内容は変更になる場合があります。

RAIMSの概要

モニタリングシステム技術研究組合(RAIMS)では、道路・高速道路の管理者、ゼネコン、建設コンサルタント、電気・通信メーカー、センサ・設備メーカーと各分野の専門家の総力を結集し、管理者のニーズに合致した最先端のモニタリングシステムの早期実用化を目指しています。

■組合員(順不同 <2019年4月1日現在>)

(国研)土木研究所、(株)高速道路総合技術研究所、沖電気工業(株)、鹿島建設(株)、(株)共和電業、能美防災(株)、オムロンソーシアルソリューションズ(株)、長野計器(株)、日本工営(株)、(株)福山コンサルタント、前田建設工業(株)、三井住友建設(株)、(株)日立製作所、日本電気(株)、富士通(株)

会場のご案内

東京証券会館 8階ホール
東京都中央区日本橋茅場町1-5-8

- ・東京メトロ 東西線・日比谷線
茅場町駅 8番出口直結
- ・東京メトロ 銀座線・東西線、
都営地下鉄 浅草線
日本橋駅 D2出口 徒歩5分
- ・JR東京駅 八重洲北口 徒歩10分



お申し込み方法

参加をご希望の方はRAIMS HPの登録フォームからお申込みください。

<https://www.raims.or.jp/event/>



※定員になり次第、お申込みを終了させていただきます。

お問い合わせ先

モニタリングシステム技術研究組合(RAIMS)

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-16 ISアルプスビル5F

電話：03-5577-5400

e-mail：registration@raims.or.jp

CPDプログラム認定団体

公益社団法人 土木学会	3.8単位
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会	3.75単位
一般社団法人 全日本建設技術協会	3.5単位
一般社団法人 交通工学研究会	4単位